

農林技術会議
指 導 資 料
平成9年3月

ヤマビルの防除マニュアル

— 森林レクリエーション地域を中心として —



千 葉 県
千葉県農林技術会議

ま え が き

安房郡天津小湊町に所在する内浦山県民の森が、昭和45年11月開園した当時から既にヤマビルは生息していた。

ヤマビルは関東地方では茨城県、山梨県の一部にしか見られないもので貴重な自然の一端を表わす指標ともいわれた。

しかし、ヤマビルの伝播を主に媒介するシカの増大等により濃密にかつ、広範囲に生息するに及んで、森林レクリエーションに訪れる一般の人々にも被害が出るようになってきた。

これに対応して、県林業試験場ではプロジェクト研究として「内浦山県民の森及びその周辺部におけるヤマビル駆除に関する研究」が平成3年から7年度まで行われた。

今回の指導資料はこの研究のエキスである。

ヤマビルの被害を受けている関係者にとって参考になれば幸いである。

平成9年3月

千葉県農林技術会議
技術調整部会長

桧垣正則



写真 - 1 落葉に付着しているヤマビル

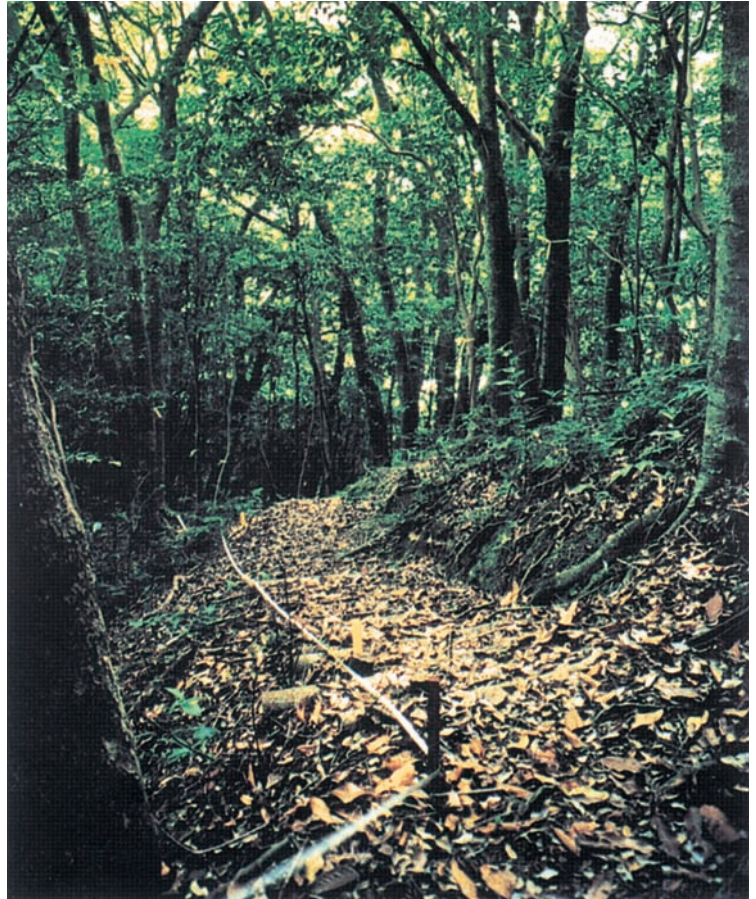


写真 - 2 暗くて落葉が堆積している所にヤマビルが多く生息する



写真 - 3 沢筋など水分の多い所にヤマビルが多く生息する